

2005年4月14日

フォルダ単位でアクセス制御、書き込み制御・記録機能も大幅強化 「PCGUARDIAN VER2.1 (ピーシーガーディアン バージョン 2.1)」 2005年4月より販売開始

キヤノンシステムソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田和則)は、この度、デスクトップセキュリティ製品として位置づけている「PCGUARDIAN」を、アクセス制御機能や対応OSの追加など大幅な機能強化を図り、「PCGUARDIAN VER2.1」として2005年4月より販売開始いたします。

「PCGUARDIAN VER2.1」は、従来対応しておりましたパケットライト方式に加え、新たにライティングソフトウェアにも対応し、一般的に最も広く用いられているソフトウェアによる書き込みを制御・記録することが可能となったため、クライアントPCに対するセキュリティがさらに向上いたしました。機能面では、クライアントPCに対して、出力可能なプリンタを限定するポリシー設定を行うことにより、さらなる印刷制御を実現できる機能を追加し、統計情報機能4種類の追加とあわせ、より詳細にわたる運用管理が可能となりました。さらに統計分析結果を管理者へ定期的に電子メールで通知するレポート機能も備えています。



本年4月に施行された個人情報保護法により、企業や組織内にあるクライアントパソコンのセキュリティ対策の強化が更に求められる状況となっています。「PCGUARDIAN VER2.1」の導入により、機密情報の流出防止や取り扱いの情報把握が一元的に管理でき、クライアントPCの使い方やセキュリティ対策の策定にも活用することができます。

キヤノンシステムソリューションズ(株)は、ゲートウェイセキュリティソリューションとして「GUARDIANWALL」をはじめとした「GUARDIANシリーズ」を開発・販売しており、1,000社以上の企業、官公庁に導入頂いております。今回販売する「PCGUARDIAN VER2.1」は、管理のしやすさでご定評をいただいているGUARDIANシリーズの管理画面イメージを踏襲し、デスクトップセキュリティソリューションの位置づけで、管理者の方の利便を考慮した設計となっています。

販売情報

製品名	クライアント数	希望小売価格 (税別)	販売開始日
PCGUARDIAN VER2.1	25 ~	¥725,000 ~	2005年4月

PCGUARDIAN は、キヤノンシステムソリューションズ(株)の登録商標です。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標です。

Intel, Pentium, Celeron は、米国 Intel Corporation の登録商標です。

Solaris は、米国 Sun Microsystems, Incorporated の登録商標です。

RedHat は、米国 RedHat Incorporated の登録商標です。

Sparc, UltraSparc は米国 Sparc International, Inc.の登録商標です。

その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。

お客様からのお問い合わせ先(記事などへの掲載用)

キヤノンシステムソリューションズ株式会社

住所 : 〒108-0073 東京都港区三田 3-11-34 センチュリー三田ビル

TEL : 03-5730-7124(土日祭日を除く、9:30 ~ 17:30)

E-mail : info-guardian@canon-sol.co.jp URL : <http://www.canon-sol.co.jp/>

報道関係からのお問い合わせ先

キヤノンシステムソリューションズ株式会社 コミュニケーション企画部

住所 : 〒108-0073 東京都港区三田 3-11-34 センチュリー三田ビル

TEL : 03-5730-7108 FAX : 03-5730-7101

E-mail : comdep@canon-sol.co.jp

【各種データに関して】

次のプレス様特別ページにて、発売開始日や価格などの情報の他、パッケージデータ(TIFF 形式)、リリース文書(PDF 形式)等を公開しておりますので、是非ご活用ください。

URL : <http://www.canon-sol.co.jp/guardian/press/>

PCGUARDIANの主な機能

1. ログイン

PCGUARDIAN エージェントは、設定された監視ポリシーに沿ってクライアント PC 内で行われたローカルデバイスやファイルサーバーへのアクセス、プリンタへの出力、Windows ログオン/ログオフ、PCGUARDIAN エージェントの起動/停止などのイベントログをサーバーにアップロードし、一括管理します。

FDD、CD、DVD、カードリーダー、USB メモリなどのローカルデバイスへのアクセスログや NETBIOS 経由の通信ログ、ローカルプリンタやプリンタサーバー経由のログを収集することも可能です。

そのログは、検索/閲覧や統計情報レポートとして利用でき、その結果を CSV ファイル形式でダウンロードすることも可能です。オフライン時 - モバイル端末の社外への持ち出しやネットワーク接続障害時 - にも、その間の情報操作ログが一時的にクライアント PC に保存され、通信回復と同時に順次アップロードされます。また、サーバーと一定期間通信のないクライアント PC の検出も可能です。

2. アクセス制御

PCGUARDIAN エージェントは、設定された監視ポリシーに沿ってクライアント PC 内で行われたローカルデバイスやファイルサーバーへのアクセス、プリンタへの出力を制御できます。これら制御のポリシーは、リソースの種類ごとのアクセス制御、Read/Write 単位でのアクセス制御、プリンタへの出力制御として設定が可能です。

アクセス拒否されたイベントは、ログとして PCGUARDIAN サーバーに記録されます。

3. 統計情報処理

PCGUARDIAN サーバーに保存された、監視ログを個別に検索するだけでなく、期間を指定し、監視ログをマクロな視点で観察することにより、利用傾向や禁止操作の頻度を視覚的に捉えることができます。

今回4種類の統計情報が追加され、以下、19種類の統計情報を処理できます。

また、これらの統計結果は CSV 形式ファイルでダウンロードが可能です。

ローカルデバイスへのアクセス統計(3種類)

ファイルサーバーへのアクセス統計(8種類)

プリンタ出力の統計(7種類) <追加>

クライアント PC 情報(1種類) <NEW>

4. 使いやすい管理機能

ポリシーの適用

- クライアント PC 単位、グループ(クライアント PC の集合)単位
- さらに共有フォルダ単位でのポリシー適用が可能 <NEW>

ポリシーの設定

- デバイス、プロトコル、イベント単位でのポリシー設定
- アクセス制御、ログインを独立して設定可

監視ポリシーの自動配布

クライアント PC の集中管理

- メンバー PC 情報の一元管理
- エージェントプログラムの自動配布
- ポリシーの自動配布

5. PCGUARDIAN ログの検索・閲覧

PCGUARDIAN サーバーの HDD に保存されたログを、さまざまな検索キーをもとに迅速かつ容易に検索し、情報として閲覧できます。また、バックアップデバイスに退避した過去のデータを PCGUARDIAN サーバー内の HDD にリストアし、検索・閲覧することもできます。検索結果を CSV 形式ファイルにダウンロードすることも可能です。

動作環境

PCGUARDIAN サーバー

【対応 OS】Solaris 8、9(x86 版には非対応)、REDHAT Enterprise Linux AS3/ES3

【CPU】UltraSPARC III 650MHz 以上または Intel Pentium III 以上

【メモリ】512MB 以上

【ハードディスク】150MB 以上の空き容量

注: ログ容量はクライアント数、ログ保存期間に依存

クライアントコンピュータ

【対応 OS】Windows 2000 Professional/XP Professional/Windows XP Home Edition

【CPU】Celeron 300MHz 以上

【メモリ】128MB 以上

【ハードディスク】30MB 以上の空き容量